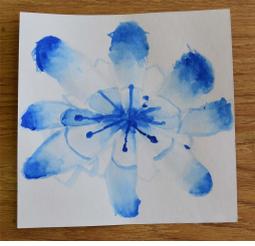


- 1 学年 第3学年、4学年
- 2 教科、題材名 図画工作科
3学年「色のわ」「青い花」、4学年「笑顔のわたし」「まぼろしの花」
- 3 実践内容（3年生10名、4年生14名、計24名の複式授業）

本校では、転出入が多いことから完全なAB方式でなく、可能な限りその学年の教科書で扱っている指導内容を、その学年で指導することとしている。

学年の始めに扱う2つの単元は、水彩絵の具を使った表現である。特に3年生は、初めて個人の絵の具を使うので、教えることが多い。つくる楽しさを味わわせるためには、教えるべきことと、自由に発想させることのめりはりをつけることが大切である。

月日	3年生の活動の記録	4年生の活動の記録
4/14 ※ 4 年 は 心 電 図	題材名「色のわ」 ○絵の具のチューブをパレットに置き、パレットの使い方を知る。 ○三原色について学び、混色により、色相環を完成させる。筆の使い方のうち、水の量の調整の仕方を師範と個別指導で知る。 	題材名「笑顔のわたし」（三原色で表そう） ○絵の具のチューブをパレットに置き、パレットの使い方を復習する。 ○昨年度製作した色相環を思い出しながら、三原色、補色、混色、水の量に注意しながら自分の顔をかく。主に肌の色と、髪の毛の色について師範をして確認する。 
4/21	題材名「青い花」 ○水の量に注意しながらの濃い色から薄い色への彩度のグラデーションと、規則性をもって並んだものの美しさを感じながら想像した青い花を表す。 ○筆洗の使い方と、パレットや筆の洗い方について、十分に時間をとり、詳しく知る。 	題材名「まぼろしの花」 ○水の量、グラデーション、規則性をもって並んだものの美しさを感じながら、想像したまぼろしの花を表す。 ○筆洗の使い方と、パレットや筆の洗い方について、再確認する。 

4 成果と課題

- 成果…指導内容や児童の実態に合った題材を組むことができた。
- 課題…図画工作科は、新しく学ぶことが多く、発想をふくらませるためにも、導入が大切である。しかし、複式の授業で、2つの学年が違う題材を行うとなると、特に1時間図画工作のある高学年では、導入の時間が十分にとれない。そこで、その学年で必ず扱う用具、材料は、扱いながらも、できるところは、2学年一緒の題材を行うような準AB方式での授業が本校には合っていると考える。どの題材を一緒に行い、どの題材をABで行うか、2年間分の年間指導計画を立てることが今年度の課題である。